



みんなが主役 豊岡小

# 大 楓

## 平成26年度 学校評価（第2回アンケート）の集計結果

### 【学校評価特集】

保護者アンケート	総合満足度	86.3 (1.5▼)
教職員アンケート	総合達成感	86.0 (0.8△)
児童アンケート	総合満足度	85.4 (1.0△)



平成27年2月17日 No.19  
銚子市立豊岡小学校 中西 健

1月に実施した保護者、教職員、児童のアンケートの結果と考察がまとまりましたのでお知らせします。御協力ありがとうございました。

領域	No.	評価内容	保護者満足度	教員達成感	児童満足度
I 思考力表現力	1	考える力や表現する力を伸ばしている。	80.3	82.1	66.2
	2	家庭学習の習慣化が図られている。	73.9	85.7	80.9
III 体験活動	3	体験活動をしっかりと取り入れ、主体性を伸ばしている。	85.6	89.3	—
IV 読書活動	4	読書の習慣化を図るための指導が適切に行われている。	81.8	78.1	71.7
V 心の教育	5	道徳の授業の確実な実施と授業内容の工夫により、道徳的実践力が高まっている。	—	71.4	—
	6	友だちを思いやる心やいじめ防止への指導が適切に行われている。	80.7	78.1	86.8
VI 学校行事	7	学校行事において、自ら計画し実行する活動を取り入れることで自主性が育っている。	—	78.1	—
	8	学校行事を通して、学年を越えた交流が深まっている。	95.5	90.6	91.2
VII 部活動	9	部活動が、目標に向け努力する姿勢やたくましい心の育成につながっている。	87.9	81.3	93.5
VIII 家庭地域との連携	10	学校だよりや学級だよりは、子どもたちの様子をわかりやすく伝えている	88.6	94.4	—
	11	食農体験（かえでプラン）や学校行事において、地域との連携が進められている。	92.4	94.4	—
IX 安全安心	12	学校施設の安全管理や登下校時の安全対策がしっかりと機能している。	80.7	88.9	—
	13	危機管理マニュアルが使いやすく整備されている。	—	86.1	—
	14	避難訓練が安全を守る活動として、しっかりと行われている。	86.7	91.7	91.2
	15	想定外の事態に迅速に対応する意識が徹底している。	—	77.8	—
X 校内研修	16	全職員共通認識のもとに研究が進められている。	—	90.6	—
	17	校内研修が授業の改善に生かされている。	—	89.3	—
XI 教育活動全般	18	子どもたちは、毎日、楽しく学校に来ている。	90.9	88.9	87.5
	19	子どもたちは、教師から愛情をかけられ、安心して学校生活を送っている。	87.9	91.7	86.4
	20	教職員は、一人一人の子どもを十分に理解し、一人一人に応じた支援をしている。	84.5	80.6	90.8
	21	わかる授業づくりが進められている。	83.0	78.6	88.4
	22	学校で十分に運動している。	85.6	90.6	89.7
	23	学校で、あいさつや言葉遣いなどをきちんと指導している。	86.7	75.0	86.4
	24	教職員は、保護者からの相談に丁寧に応じている。	87.5	88.9	—
	25	授業参観や学校行事は、気軽に参加できるように配慮されている。	93.6	90.6	—
	26	学校は、PTA活動や地域の活動に協力的である。	91.7	88.9	—
	27	教職員は、信頼を損なうことのないように常に努めている。	—	100.0	—

- ◇ 満足度・達成感は、4段階評価で、全員が「4 十分」と回答した場合を100となるようにして算出しました。全員が「B おおむね」と回答した場合は75となります。
- ◇ 保護者の方々やお子さんが評価しづらい項目については、教員のみでの評価としたため、保護者満足度や児童満足度の欄が「—」となっています。
- ◇ 本校においては、満足度や達成感が80を下回った場合、改善が必要と判断します。本校は全体的に評価が高く、より質の高い教育実践につなげるため、あえて80という数値を境界としました。
- ◇ 裏面に、考察と今後の対応について記しました。

〈裏面へ〉

## 《考察》

### 【来年度の重要課題と考える項目】

#### ○保護者・教員・児童ともに80を下回ったもの

今回はありませんでした。

#### ○教師・児童ともに80を下回ったもの

No.4 読書の習慣化(教員78.1 児童71.7)

教員で6.3ポイント、児童で5.1ポイント下回ってしまいました。読書賞の授与数から、前期に比べると、子どもたちは読書への意欲は低下していると感じていました。校舎の耐震化工事もあり、長い期間、図書室が低学年の教室に転用されていた影響も大きいと感じています。

また、読書賞の授与数は、1年生が群を抜いて多く、高学年になるにつれて少なくなります。高学年向けの本の方がページ数も多く、読み終わるのに時間がかかるということも原因の一つだと考えます。読書カード1枚終了で授与するという従来の方法を改め、読んだページ数で評価するという方法も検討する必要があると感じます。読書賞は、子どもたちも楽しみにしていますので、一人でも多くの子が受賞できるように、これからも励ましていきます。

#### ○保護者が80を下回ったもの

No.2 家庭学習の習慣化(保護者73.9)

教師と児童は、前期と同じ数値ですが、保護者は4.1ポイント低下してしまいました。「十分満足」「まあ満足」と答えていらっしゃる方の割合はほとんど変わりませんが、「まだまだ」と答えた方が増えてしまいました。教師や児童は、それなりの達成感と満足感を感じており、「どのくらいやればよいのか」という点で、御家庭との意識の差が浮き彫りになりました。家庭学習のあり方という点で、さらに共通理解を図っていく必要を感じます。また、高学年になるにつれて、「まだまだ」と回答される方の割合が増えることが気になります。本来は、高学年になるにつれて家庭学習の習慣が定着していくべきだと考えます。

#### ○教員が80を下回ったもの

前回の6項目から7項目に増えました。

特に、「No.23 礼儀正しさ」が5.6ポイントも下回ったのは、たいへん気になることです。小規模校である本校は、教員と子どもたちのかかわりが緊密で、それはそれでよさの一つでもあるのですが、それ故に礼儀や言葉遣いについて、ややおざなりにしてしまっているとの反省もあると思われまます。社会でしっかり通用する礼儀については、子どもたちのために、しっかりと指導したいと考えます。

#### ○児童が80を下回ったもの

No.1 考える力や表現する力(児童66.2)

今年度は、発信型社会科学習をサブテーマとして校内研究をすすめ、この項目については、初めて教師の達成感が80を越えました。授業中の子どもたちの姿からも、自分なりの考えをもち発表する力は確実に伸びてきていると考えています。このことを子どもたちが実感できるようにし、自信につなげていきたいと考えます。

### 【現在、達成されていると判断される項目】

#### ○保護者・教員・児童ともに80を上回ったもの

No.8 学年を越えた交流(保護者95.5 教員90.6 児童91.2)

No.9 部活動の充実(保護者87.9 教員81.3 児童93.5)

No.14 避難訓練の充実(保護者86.7 教員91.7 児童91.2)

No.18 学校が楽しい(保護者90.9 教員88.9 児童87.5)

No.19 教員の愛情(保護者87.9 教員91.7 児童86.4)

No.20 子どもへの理解(保護者84.5 教員80.6 児童90.8)

No.22 十分な運動(保護者85.6 教員90.6 児童89.7)

前述の「No.23 礼儀正しさ」が外れ、7項目に減りました。しかし、この7項目についての児童満足度の平均は、前期よりも3ポイント向上しています。特に、「No.20 子どもへの理解」は10ポイントも向上しました。

#### ○保護者・教員ともに80を上回ったもの

No.3 体験活動の充実(保護者85.6 教員89.3)

No.10 学校だより・学級だより(保護者88.6 教員94.4)

No.11 地域との連携(保護者92.4 教員94.4)

No.12 学校施設や登下校の安全管理(保護者80.7 教員88.9)

No.25 相談への対応(保護者87.5 教員88.9)

No.26 行事参加への配慮(保護者93.6 教員90.6)

No.27 PTAや地域への協力(保護者91.7 教員88.9)

新たに「No.12 学校施設や登下校の安全管理」が加わりました。この項目は、今まで常に80を下回っており、本校の大きな課題と捉えていたものです。校舎の耐震化の完了もプラス評価につながったと考えます。今後も、安全点検や交通安全指導、登下校の見守りをしっかりと行い、安全安心な学校づくりに努めていきます。

今回のアンケート結果を受け、重要課題を洗い出し、来年度の学校経営方針(案)を定めます。この(案)は、学校評議員会を兼ねた学校関係者評価委員会にかけて御意見をいただいた後、正式に決定し、来年度の学校経営をすすめてまいります。皆様からお寄せいただいた御意見も、校内で検討し、可能な限り実現するよう努力します。

